



平和は全人類の願いです

佐中 十九昭 議員

平和と暮らし



Q 戦争立法と地方政治について
A 町が担うべき役割は十分果たす

質問(議員)

いま日本の政治は、戦争か平和かをめぐって、戦後最大の歴史的岐路を迎えている。あらゆる機会に戦争立法を阻止する必要がある。さらに地域経済を守り、介護・医療などの福祉を守る考えはないか。

答弁(町長)

防衛・安全保障については国の専権的事項なので、国政の場で議論し国民に説明をするべきと考える。また、福祉などに関する支援

については引き続き第4次海田町総合計画に基づき行う。

Q JR高架事業その後の見通しは

A 早急に事業着手するよう要望

質問(議員)

JR高架事業を目的通り事業を進めよ。

答弁(町長)

早急に進めるよう県に要望する。

その他の質問

- 自治会関連補助金制度について
- 庁舎移転先決定について

一般質問

町政を問う

14人の議員が31項目の質問を行い、町長の考えをいただきました。ここでは、各議員の質問の要旨をご紹介します。
(全文については後日、町議会ホームページの「会議録」に掲載します。)





新しい災害マップで安全を

西田 祐三 議員

災害対策



Q 避難基準の運用強化と教訓を生かした取り組みを

A 安全確保に取り組む

質問(議員) 本町の避難基準や対象地区の誘導はどのように定めているか。また、これまでの教訓を生かした取り組みは。

答弁(町長) 国、県のガイドラインなどに従い避難判断マニュアルを策定しており、発令基準、対象地区はこれにより判断している。避難者の迅速な避難所への受け入れのための鍵の集中管理を行うとともに、躊躇な

Q 東広島バイパスの整備促進を

A 国、県との連携を強化する

質問(議員) バイパスの騒音振動問題への対応や高架の早期実現を。

答弁(町長) 国、県、町が連携し、騒音問題は舗装修繕で対応、工事期間の短縮で早期高架化を図る。

桑原 公治 議員

町のPR



質問(議員) 日本人初の金メダリストである織田幹雄氏生誕の地として海田町をPRする考えは。

答弁(町長) 織田幹雄スポーツ振興会を通じて各種スポーツ大会を実施するなどPRを行っている。また、記念館の設置を検討しており、織田氏に関する品々を展示するとともに、貴重な資料を後世に引き継いでいこうと考えている。

Q 自治会への新たな支援を

A 検討する

質問(議員) 活動資金の減少に不安を抱える自治会が安心して活動できるよう、新たな支援を検討するつもりはないか。

答弁(副町長) 金銭補助が妥当かどうかを含め、どのような支援ができるかを検討していきたい。



この町がふるさとです

Q 織田幹雄氏が誕生した町としてのPRは

A 記念館の設置を検討している



このままじゃ危ないじゃろう

多田 雄一 議員

空き家対策



質問(議員) 国が空き家等対策の推進に関する特別措置法を施行した。町は今後どのように対策や関連する条例の制定を行うのか。

答弁(町長) 本年度実施する空き家調査の結果や近隣市町の状況を見て計画策定や協議会の設置を考えており条例の制定は考えていない。

質問(議員) 危険であると判断され特定空き家に指定された場合、税金が上

Q 計画の策定と関連する条例の制定を

A 本年度実施する調査の結果を見て判断する

がつたり解体費用の負担が重荷になると思うが、何か対策は。

答弁(町長) ケースバイケースではあるが補助することも考える。

庁舎問題

Q 庁舎を新築する場合、マンションなどの複合ビルにしてはどうか

A 現在は考えていない

住吉 秀公 議員

子どもの安全



質問(議員) 4月に西小通学路上に不審者が出没した。子どもの命は金銭に代えることのできないかけがえのないものであり、通学路の安全確保は行政の義務である。防犯カメラの整備を前倒しで行い、全ての通学路を監視してはどうか。

答弁(町長) 全ての通学路に設置は難しいと思うが、警察と協議のうえ、今後も検討する。

質問(議員) 学校安全ボランティアの募集を強化するとともに、不審者情報が出た場合のみ通学路の見守りをしていただく、準ボランティアの募集も行ってはどうか。

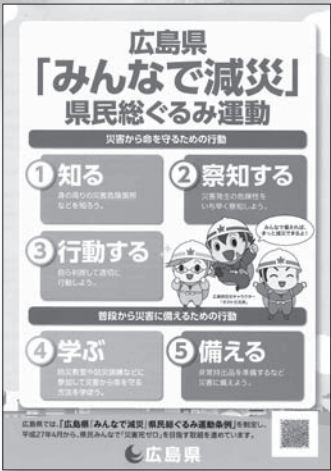
答弁(教育長) 広報などを通じて協力を呼びかけ、ボランティア登録者数を増やすとともに、子ども110番や防犯パトロールと連携をとって不審者対策を充実させる。

その他質問

- 防災ラジオの無償配布または貸与について
- 認知症高齢者の居場所づくりについて



設置をもっと早く



目指せ！「災害に強い町海田」

下岡 憲国 議員
自主防災組織



Q 現実的な組織強化の取り組みが必要では
A 防災リーダー育成など支援強化する
【質問（議員）】 広島県は「みんなで減災」県民総ぐるみ運動条例を制定し、自助・共助・公助連携による災害死ゼロを目標に掲げた。災害時、自主的に適切な避難行動をとるために自主防災組織の果たす役割は大きい。町も地域参加の防災訓練などを行っているが、実際の災害を想定し自主防災組織が機能するように研修・啓発などの強化策が必要ではないか。

【答弁（町長）】 実践的な防災訓練の実施や研修の機会を増やすなど啓発していく。
【質問（議員）】 防災について経験・知識などをもつ地域の防災リーダーの育成も重要ではないか。
【答弁（町長）】 必要なことと考えており、地域防災リーダー養成の支援をしていく。

その他の質問 ●子育て支援について

崎本 広美 議員
織田幹雄基金



Q 金メダリストを称えたスポーツ振興を
A 活用方法とグラウンドを検討
【質問（議員）】 金メダリストである織田幹雄先生を称え、スポーツの振興と選手を育成できるグラウンドの整備を行っている。
【答弁（町長）】 織田幹雄基金は、織田幹雄スポーツ振興会の運営に充てているが、今後は基金の設置目的にあった活用を検討するとともに、未来を見据えたスポーツ選手が育成できるグラウンド整備を検討する。

Q 狩猟免許の受験料の助成を
A 鳥獣被害の防止手段とし研究
【質問（議員）】 狩猟免許の受験料を助成する制度を設けてはどうか。
【答弁（町長）】 狩猟の担い手を増やすことは、被害を防ぐ有効な手段と思われるため、受験料助成など取り組みを調査研究する。

その他の質問 ●未来を見据えた公民館整備を



夢に向かって

各学校の児童数	
学校名	27年度(5月1日現在)
海田西小学校	152人
海田小学校	395人
海田東小学校	500人
海田南小学校	620人
海田西中学校	214人
海田中学校	535人

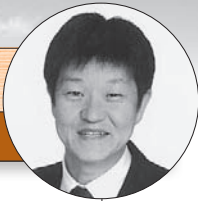
これ見て！ 何を感じますか？

大江 康子 議員
教育問題



Q 通学校区の見直しを
A 時期尚早と考える
【質問（議員）】 校区の見直しについては、平成24年に通学区区域審議会で検討し現状維持の結論が出たとのことだが、少人数の小学校と多人数の小学校の児童数に約4倍の差がある。特に南小学校区は児童が益々増えていく可能性があるが、審議会を立ち上げて見直しの検討をする気はないか。
【答弁（教育長）】 国の第2の教育改革が軌道に乗っていく2、3年後には、義務教育をどうするのか、校区の選択性、9年間の一貫教育などの議論が出る可能性がある。国の教育改革が大きく変化する可能性の中、海田町全体の教育を今後どのようにしていくかという議論を十分した上、通学区の見直しを検討していくべきで、審議会を立ち上げるのは時期尚早と考える。

兼山 益大 議員
熱中症対策



Q 危険値に達したときの対応は
A 特に緊急時の対策は講じない
【質問（議員）】 WBG T（湿度基準）31℃以上の危険値に達した瞬間、町内放送で危険を知らせるなど、緊急時の対策は講じないのか。
【答弁（副町長）】 熱中症が急増する7月に「広報かいた」などで注意喚起する。また、各公共施設で熱中症予防についての掲示と夏場の休憩所として利用を勧める呼びかけはするが、緊急時の対策は講じない。

Q 平和学習は隣接する広島市とも、町内の学校間、クラス間でも温度差があつてはならない。「平和」をどのような形で伝えるのか
A 本町すべての学校において学習指導要領に則り、発達段階に応じて平和学習を行っている。世界の平和と人類の幸福のため子どもたち自ら貢献する態度を養う力をつけることを学習につなげている



お知らせするものがないと危険です



すこやかな成長を

西山 勝子 議員

発達障がい児支援



A 前向きに検討する

Q 5歳児健診の実施を

質問(議員) 平成26年度における就学時アンケート結果で、発達面で全体における配慮が必要な子どもの割合は23・5パーセントだった。集団への適応力、社会性は5歳前後で差がでることから、早期に発見するために、5歳児健診を実施する考えはないか。

答弁(町長) 前向きに検討する。

Q 「ゾーン30」の整備について

A 実施方法を検討する

質問(議員) 生活道路が集まった区域に通学路が含まれている場合は、特に「ゾーン30」を整備することは通学路の安全対策上も有効と考えるが、関係者と協議し整備してはどうか。

答弁(町長) 実施方法を検討する。

※「ゾーン30」とは…事故抑止のため、区域を定め最高速度を30キロに制限するもの。

宗像 啓之 議員

冠水対策



A ホームページなどで公表する

Q マップを策定し公開すべきでは

質問(議員) 雨水関係の整備が進み、道路冠水は以前に比べて改善されているが、まだ冠水箇所はある。状況を把握していると思うので、マップを作成し広報などで公開して注意を促すべきではないか。

答弁(町長) 防災パトロール冠水箇所図を作成しているので、これを活用してホームページなどで公表する。

Q 町内に移転した職員に手当を

A この定例会に提案している

質問(議員) 災害発生時の素早い初動体制を整えるためには、職員の町内居住を推進する必要がある。手当を出してはどうか。

答弁(町長) 町内に住居を借り受ける職員に住居手当を増額する条例の改正をこの定例会に提案している。



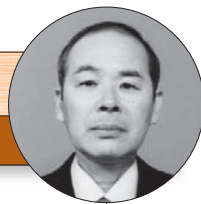
道路が川になります



NPTニューヨーク行動パレードにて

岡田 良訓 議員

戦争法案



A 見解は控える

Q 即時撤回を求めるべきではないか

質問(議員) 安倍内閣の日本を「海外で戦争をする国」につくりかえる戦争法案は、武力行使を禁じた憲法9条の破壊行為に他ならない。戦後最悪の法案に町民の生命と安全を守る立場から、即時撤回を求めるべきではないか。

答弁(町長) 防衛・安全保障は、国の専権的事項で、国政の場で議論されるので見解は控える。

Q 被爆継承の「人づくり」を

A 独自では考えていない

質問(議員) 「被爆の実相の継承」「核廃絶の世論づくり」ができる「人づくり」の取り組みをすべきではないか。

答弁(町長) 広島市で「被爆体験伝承者」の養成が行われているので、独自の取り組みはしない。

大高下 光信 議員

障がい者福祉



A 見直す考えはない

Q 福祉タクシーの制度の見直しを

質問(議員) 福祉タクシー乗車券の交付対象者の推移は。

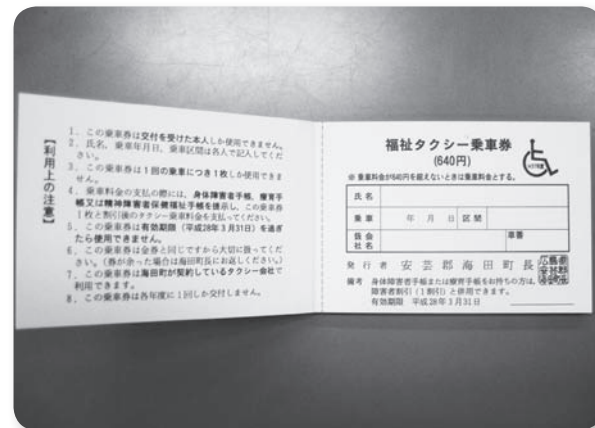
答弁(町長) 年度当初の交付対象者は、平成25年度568名、平成26年度585名、平成27年度574名と横ばいとなっている。

質問(議員) 福祉タクシー券の利用者数と利用枚数は。

答弁(町長) 平成27年3月の利用者が123名、利用枚数347枚、平成26年度全体の利用枚数は、5307枚となっている。

質問(議員) 福祉タクシー券の交付枚数を増やす考えはあるか。

答弁(町長) 今年度からじん臓機能に障がいがあり人工透析を受けている方の交付枚数を36枚から48枚に増やしている。



助成があると助かるな

議会の動き

議会、委員会
協議会、調査など

3月定例会以後(平成27年4月10日～平成27年6月17日)の議会の本会議、委員会、協議会、調査など主なものについて紹介します。

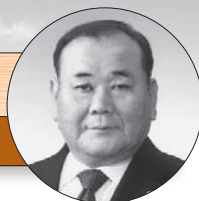
4/16	広島県町議会議長会定例議長会議(議長)
4/19	第49回織田幹雄記念国際陸上競技大会(副議長)
4/22	所管事務の年間計画について(総務)
4/23	所管事務の年間計画について(福祉)
4/28	6月定例会の開会日及び会期日程について ほか(議運)
〃	平成27年度工事執行計画について ほか(建設)
4/29	三原市合併10周年記念式典(副議長)
5/11	広島市東部地区連続立体交差事業の現状について ほか(庁舎)
〃	議会改革事項について(改革)
〃	再整備保育所の設置・運営事業者の公募等について(保育)
〃	海田公民館整備基本計画について(公民館)
5/14	平成27年度学校教育の方針について ほか(総務)
5/15	職員の不祥事について(全協)
5/18	安芸郡町議会議長会議(議長)
〃	福祉保健部所管施設の管理運営状況について ほか(福祉)
5/19	広島県町議会議員研修会 14ページ
〃	平成27年度広島安芸商工会第7回通常総代会(議長)
5/20	6月定例議会について ほか(議運)
〃	平成27年度海田町交通安全協会総会(議長)
5/21	平成27年度国道2号関係保成同盟会総会(議長)
5/26	平成27年度町村議会議長・副議長研修会(議長)
5/29	議会だより編集①(広報)
〃	平成27年度第1回安芸地区消防運営協議会(議長)
5/30	「足立杯争奪」中学生軟式野球海田大会(議長)
5/31	足立先生を偲ぶ会(議長)
6/3	平成27年第3回海田町議会定例議会開会日
6/4	保育所条例の改正について(全協) 2～4ページ
〃	保育所条例の改正について(保育)
6/5	議事日程について(議運) 2ページ
〃	保育所条例の改正について(保育)
〃	議会だより編集②(広報)
6/8	議会だより編集③(広報)
6/10	議会改革事項について ほか(改革)
〃	竹貞分区分外雨水整備計画について ほか(建設)
6/11	議会だより編集④(広報)
6/16	議会だより編集⑤(広報)
〃	職員の処分について ほか(総務)
〃	MERS コロナウィルスの状況について(福祉)
〃	委員の選任等について(議運)
〃	広島市東部地区連続立体交差事業の見直し案の方向性について(庁舎)

※委員会や協議会などの名称は、次の略称で掲載しています。

(総務)…総務文教委員会 (福祉)…福祉厚生委員会
(建設)…建設産業委員会 (議運)…議会運営委員会
(全協)…全員協議会 (改革)…議会改革特別委員会
(広報)…議会広報広聴調査特別委員会 (保育)…保育所整備特別委員会
(公民館)…海田公民館整備基本構想特別委員会
(庁舎)…庁舎建設及び広島市東部地区連続立体交差事業調査特別委員会
(議長)…議長出席 (副議長)…副議長出席

前田 勝男 議員

庁舎移転



A 県の動きを見て対応する

Q 住民投票の時期は

質問(議員)

庁舎の位置を定める住民投票条例は9月30日までの期限であるが、説明資料や説明時期はどうするか。庁舎が移転しないから立交は必要であると県が判断しているのでは。

答弁(町長)

住民投票の期限は9月30日となっているが、県が示す広島市東部地区連続立体交差事業の見直し案を見て考える。

Q 循環バスの定時運行について

質問(議員)

最近特に循環バスの遅れが目立つ。20分遅れなど相当ある。運転手の休憩時間不足などで事故の心配もある。その対策は。

答弁(町長)

健康状態などはバス会社が適切に管理していると考えている。遅れは朝のラッシュによるもので日中はないと思う。また、コースなど見直す考えはない。

その他の質問

●防犯カメラについて



いつになったら動くの？